

医療の安全に関する研究会 第12回研究大会

医療事故と刑事罰

～ 刑事罰を問わないのはどういう場合だろうか
医療事故の要因を分析し、医療の安全につないでいくためには
どういう考え方と仕組みが必要だろうか～

日 時：2007年12月1日(土) 10：00 - 17：00

場 所：南山大学名古屋キャンパスB棟3階B31教室
(名古屋市昭和区山里町)

参加費：一般 2,000円 会員 1,500円 学生 1,000円

どなたでも参加できます。郵便振替(口座番号：00870 - 7 - 104540 名義：医療の安全に関する研究会)にて参加費をお振り込みください。「参加証」をお送りします。当日参加も可能ですが、できるだけ事前申し込みをお願いします。

医療の安全に関する研究発表を募集します(会員外の参加も歓迎)。研究発表の申し込みは裏面または研究会ホームページ<http://www.urban.meijo-u.ac.jp/zsakai/iryou-anzen/index.htm>をご覧ください。

プログラム

9：30 受付

(総合司会) 齋藤悦子(学校法人名古屋医専(仮称)副校長・教授)

10：00 - 11：00 研究発表(ポスターセッション)

(座長) 松葉和久(名城大学薬学部教授)

11：00 - 11：10 理事長挨拶 島田康弘理事長(名古屋大学大学院医学系研究科教授)

11：10 - 11：35 「医療の安全に関する川柳募集」講評と表彰

大木俊秀(NHK学園)

11：35 - 12：00 助成研究報告

酒井順哉(名城大学大学院教授)

12：00 - 12：30 大会長講演「被害者の『5つの願い』を踏まえたシステムの構築を！」

加藤良夫(南山大学法科大学院教授 弁護士)

<昼食休憩>

13：30 - 14：15 特別講演「医療過誤と刑事責任」

佐伯仁志(東京大学大学院法学政治学研究科教授)

14：15 - 16：50 シンポジウム「医療事故と刑事罰を考える」

(コーディネータ) 増田聖子(弁護士)

(シンポジスト) 上田裕一(名古屋大学大学院医学系研究科教授)

豊田郁子(医療被害者)

太田裕之(警察庁刑事局刑事企画課長)

16：50 - 17：00 次期大会長挨拶 江場康雄(株エバ代表取締役)

主催：医療の安全に関する研究会

〒461-0001 名古屋市東区泉1丁目1-35
ハイエスト久屋6階 センター気付
TEL 052-951-3931 FAX 052-951-3932

医療事故と刑事罰

研究発表の募集要項

募集内容：医療の安全に関することをテーマにして頂ければ何でも結構です。

応募資格：医療の安全に関心のある方であればどなたでも可能です。

応募方法：WordまたはPowerPointで作成したポスター（1枚、縦向き）を添付ファイルで研究発表の受付担当の酒井（sakai@urban.meijo-u.ac.jp）までお送りください。
常任理事会にて審査の上、発表の可否についてメールでご返事します。

締切期日：2007年10月10日迄

公開許諾：審査の結果、発表が許可された研究内容は研究会のホームページにPDF形式で掲載させていただきますことをご了解ください。

研究タイトル名〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

氏名〇〇〇（所属〇〇〇〇）

1. 研究目的

2. 方法

3. 結果

（できるだけ図表化してください）

4. 考察

5. まとめ

研究会場(南山大学名古屋キャンパス)までのアクセス



山手通門から入り、坂を上った先、
法科大学院棟（A棟・7階建）の
西隣がB棟です

